



子供の坐薬の使い方

鎮痛解熱剤や吐き気止めによくある剤形です。肛門に挿入すると成分が直腸から吸収されるため、効きめが速いのも特徴です。それだけに使い方には注意が必要です。医師や薬剤師からよく説明を聞きましょう。

1 挿入の準備

便と一緒に出てしまうことがあるため、できるだけ排便後に挿入しましょう。清潔な指でシートから取り出します。半量を用いるときは、取り出したあと、ナイフなどで斜めにカットします。



2 先のとがったほうから肛門に入れ、しっかりと押し込む

- ・子供をおお向けに寝かせます。
- ・膝をまげるように両足を上に持ち上げ、足を押さえます。
- ・坐薬のとがった方を肛門にあててからゆっくりと挿入し、大人の人差し指の第一関節が入るくらいまで直腸に押し込みます。するとストンと吸い込まれるような感じになります。そこまで入れることが大切です。



3 しばらくの間、肛門をティッシュなどで押さえ、坐薬が出てこないことを確認

坐薬が入れぬくときは、坐薬の先を水でぬらすか、オリーブ油やサラダ油などをつけると入りやすくなります。

坐薬は冷蔵庫から出してすぐに使うと、痛がったり、便と一緒に出てくることがあります。使う前に室温に戻しておくか、手で少し温めておくとよいでしょう。

坐薬は冷所に保存すべきものと、その必要がないものがあります。適切に保存することが大切ですが、わからないときは冷蔵庫で保存しましょう。

